

子どもに寄りそう 教育改革宣言



私たちは、大阪市・橋下長と維新の会が進める「教育行政基本条例」や、それに基づく「教育改革」に、強い不安を感じています。

子どもの将来にかかわることですから、時間をかけて、じっくりと議論すべきです。ところが、内容が広く知らされないままに、府議会・市議会での短期間の議論だけで条例が成立してしまいました。

橋下市長の決めたことが「民意」でしょうか。私たちは、そうではないと思います。一人一人の保護者や子どもの意見に耳を傾けて下さい。そうすれば、決して多くの保護者は橋下市長のこのような「教育改革」を望んでいないことが分かると思います。

もちろん、私たちは、大阪の教育が今のままでいいとは思っていません。少なくとも、次の点では、多くの保護者が共感すると思います。

1 少人数学級の実現が一番大切

子どもの学力をあげるために、一人一人の間違い・つまづきに対応すること。子どもの悩み、いじめ、進路について耳を傾けてもらえること。これは、保護者の切実な願いです。

そのためには、先生がじっくりと子どもに向き合える教育環境、とりわけ少人数学級が一番大切です。

橋下市長や維新の会がすすめてきた「教育行政基本条例」には、それは一切触れていません。それどころか橋下市長は、府知事時代に「少人数学級の廃止」を提案したことがあり、今後の動向が心配です。

2 先生方との対立ではなく、協力関係を望みます

保護者が望んでいるのは、学校や先生方との対立ではありません。親身に相談に乗ってくれる先生がいてほしいと思います。いじめや学級崩壊の問題が起きたときに、「問題教師を告発・処分すること」ではなく、「教師と保護者が手を取りあって問題に立ち向かうこと」が大切だと思います。

先生方を人事評価の競争に追い立てることは、先生同士の協力関係を失わせ、先生方の子どもに向き合う余裕を奪うのではないか、問題や悩みを相談できる先生がいなくなるのではないか、とても心配です。

また、条例案には、一部の保護者等による「学校協議会」が規定されています。PTAのように選挙で役員を決めるのとは異なり、校長に選ばれた一部の保護者と地域住民だけで構成される学校協議会が、本当に一人一人の保護者の願いに応えた協議の場となる保障はありません。しかも、校長から選ばれた一部の人々が、全学年・全クラスの教員を評価してしまうことに、強い違和感を覚えます。

3 学校別のテスト点数公表は無意味です

橋下市長は、「学校別の学力テスト点数を公表する」と提案しています。しかし、学校別の点数は、点数の高い生徒や低い生徒がいるのを平均した数値にすぎません。これを公表しても、つまづきの原因説明にはならず、学力向上にもつながりません。ですから、学校別の点数発表は無意味です。

むしろ、それによって、一人一人の生徒や先生方が努力している姿は知られないままに、点数だけが一人歩きして、「あの学校は点数が低いからダメだ」というイメージを広げてしまいます。これでは、学校間格差が拡大し、競争が激化してしまいます。

さらに、学校間競争の結果、学校の統廃合が乱暴にすすめられることにも、強い不安を感じています。

4 「負けたら終わり」の競争より、助けあいと連帯を

橋下市長は、「国際競争に勝つ人材づくり」を強調しています。たしかに現実に競争が存在することは否定できません。

しかし、橋下市長がかかげる「競争」は、子どもどうしが切磋琢磨して成長しあえる「競争」ではなく、「負けたら終わり」の生き残り競争です。負けることは自己責任とされる弱肉強食の世界です。私たちは、わが子に、このような「競争」で仲間を蹴落とす人間に育ててほしくはないのです。

学校を卒業した子どもを待ちうける現実は、厳しい社会です。だからこそ、仲間と助けあい、連帯して困難を乗り越える力を身につけるのが、本当の教育の役割だと思います。

5 今こそ、「子どもに寄り添う教育改革」を

橋下市長や「維新の会」の議員からは、つねに「競争力」や「人材」という言葉が出てきます。しかし、これは大人の視点です。

子どもを、「経済や社会の発展にとって都合のよい人材供給源」とみるべきではありません。一人一人が、それぞれの人格と心をもっています。子どもの個性や気持ちを尊重しつつ、その成長を支える人間的な営みが、本来の教育です。

「大人の都合」、「大人の目線」によって教育改革を議論するのではなく、何よりも子どもに寄り添った教育改革こそ必要です。

短期間の審議で教育条例を成立させた手法ではなく、多くの市民が議論に参加して、教育の進むべき道を明らかにしていくことを、心から望みます。



一人一人に向き合える学校づくりを
競争よりも、助けあいと連帯を
それが、私たちの願いです

2012年3月25日

発言する保護者ネットワーク from 大阪